Reスキル講座　第四次産業革命スキル習得講座　講座情報

一般社団法人データビリティコンソーシアム

実データで学ぶ人工知能講座

実施者	一般社団法人データビリティコンソーシアム		
講座名称	実データで学ぶ人工知能講座		
認定番号	50308-1148	認定期間	2021/10 ～ 2024/9
実施方法	土日	入学定員	25 名
訓練期間	15 日間	訓練時間	100 時間
開講月	6月、11月		
受講経費	入学料　受講料 1,320,000円　合計 1,320,000円		
教育訓練給付指定	無し	指定期間	

対象分野	ＡＩ
講座の教育内容	AI即戦力人材の養成（知識情報学・機械学習の基礎・コンピュータビジョン・自然言語処理・実践深層学習）
目標とするレベル	■当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、業務上の課題の発見と解決をリードするとともに、後進育成にも貢献できるレベル □当該教育訓練が対象とする技術や手法等を活用して、新規ビジネスやサービス等の創出が可能であるほか、後進育成にも貢献できるレベル
具体的な到達目標	人工知能に関する体系的知識を獲得することで、人工知能に関する様々な知識・汎用的能力を有し（問題解決）、コンピュータサイエンスの知識・プログラミング技術を駆使でき（具現化）、具体的な社会課題に適用できる（活用）力を身につけることを狙いとした、AI即戦力人材養成、ならびに、体系的知識の学びから俯瞰力が養われることで、人工知能を活用する事業における経営判断を下すことのできる人材養成
習得できるスキル	１）「機械学習の基礎」と「知識情報学」：コンピュータに学習能力を備えさせることを目的とした機械学習やデータマイニングの基礎的な技術を中心に、数理的背景を含む体系的学びを行い、人工知能、機械学習のの基礎知識を習得 ２）「自然言語処理」「コンピュータビジョン」：言語、音声、画像データに触れながら、パターン認識で必須のベイズ決定則などの数学的基礎、形態素解析や構文解析などの基礎解析技術、さらに画像処理、自然言語処理の実践までの知識獲得 ３）「実践深層学習」では、第三次人工知能ブームを作った立役者とも言える深層学習をその歴史的発展から現在に至るまで実データに触れつつ学習 全5科目で、人工知能に関する体系的知識と人工知能分野の俯瞰力の獲得
講座の理解・習得のために推奨される実務経験	理工系、医歯薬系、人文系問わず、実務における課題を把握していることが望ましい。 システム開発やプログラミング開発の経験歴が３年以上あることが望ましい。
講座の理解・習得のために推奨される知識・技術	大学１、２年程度の基礎数学知識（統計・確率（普通）、線形代数（得意）、解析学（普通）） Pythonによるプログラミング経験 数学やプログラミングの知識が不十分また不得意という方には、推奨図書を提示するとともに、事前学習を指導している。
技術・知識の到達度の把握・測定方法	単元（科目）毎に、毎回の講義で出題される演習課題の採点結果、受講生間での順位ランキング
修了認定の判断基準	科目毎に全ての講義で出題された演習課題の採点結果を合算し、１００点満点にして６０点以上を合格と判定する 終了証書には、受講科目毎の点数と受講生内での順位が記載された成績表も含まれる。
修了認定基準に満たない受講者への措置	全ての講義内容を録画し、動画配信による受講生は視聴し、学習できるようにしている。コース終了後も、希望者には、動画配信を継続視聴できるサービスを提供している。
社会人が受講しやすい工夫	全ての講義内容を録画し、動画配信による受講生は視聴し、学習できるようにしている。コース終了後も、希望者には、動画配信を継続視聴できるサービスを提供している。
受講者に対するサポート体制	・講座当日は、講座各科目を専攻する大阪大学大学院生をティーチングアシスタント(TA) 1-2名雇用し、会場における学習支援を行う。 ・また、遠隔参加者に対しては、チャット(Slack)による質疑応答を準備し、随時サポートできる体制を整えた。 ・講座終了の翌々日より、講座の動画配信をおこない、復習できる。 ・毎週の課題学習を含め講座内容について、講座終了から次回講座前日までの間、TAならびに講師がチャットにより質疑応答をおこなう
教育訓練施設所在地	大阪府大阪市北区大深町3-1　グランフロント大阪 北館2階 ナレッジキャピタル ザ・ラボ みんなで世界一研究所内 アクティブスタジオ
ホームページ	https://www.cds.or.jp/jinzai/course01/saturday.html